

発行—2011年8月31日

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2 (群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7178

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>



共愛学園前橋国際大学



CONTENTS

■ 研究会報告 平成22年度第2回大学図書館研究会	— 2
■ 加盟館における「東日本大震災」による影響調査	— 7
■ 図書貸出ベスト10 2010年版 その1	— 10
■ 新人紹介	— 11
■ トピックス・編集後記	— 12

研究会報告

群馬県大学図書館協議会「大学図書館研究会」・群馬県図書館協会「専門研修」 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成22年度第2回

テーマ：「出版流通 ―これまで、いま、そして、これから―」

日 時：平成23年3月10日（木）14時00分～16時30分

場 所：群馬大学荒牧キャンパス 教養教育GC棟3階301（視聴覚教室）

参加者：25名（大学図書館20名、公共図書館4名、高校図書館1名）

講 演：「出版産業の変化を促す2つの要素

―デジタルネットワーク技術の進展と市場の変化」

（株）文化通信社 取締役編集長 星野 渉 氏

【概要】2010年は「電子書籍元年」と呼ばれ、これまでになかったほど「出版」が多くのメディアで取り上げられた。その一方で、書籍流通においては、これまでの供給過剰なシステムを見直す動きが進行し、書籍新刊点数は1962年以来の大幅な減少となった。なぜ今「電子書籍」が大きな話題になったのか、そして、日本の出版流通は今後どのような方向に進むのかをテーマとした。



研究会風景



末松協議会会長



星野講師

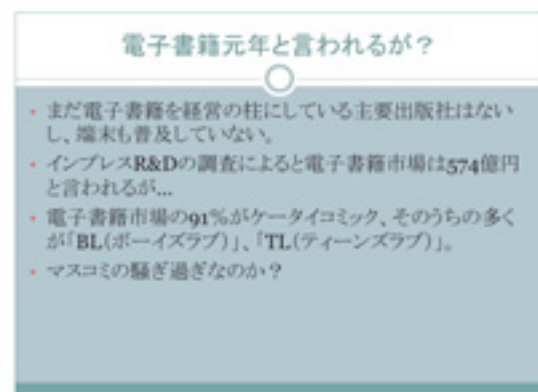
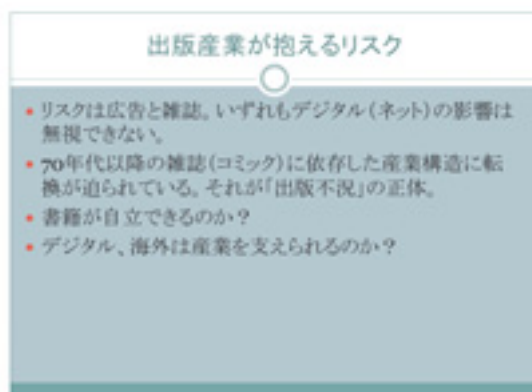
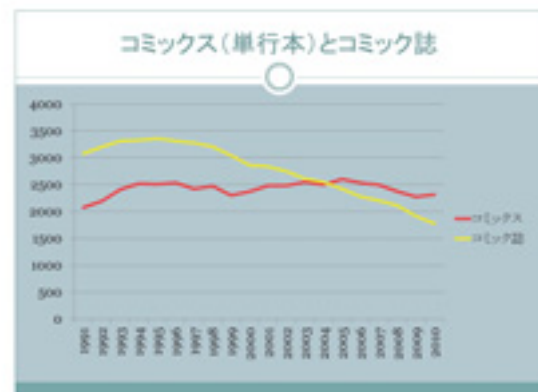
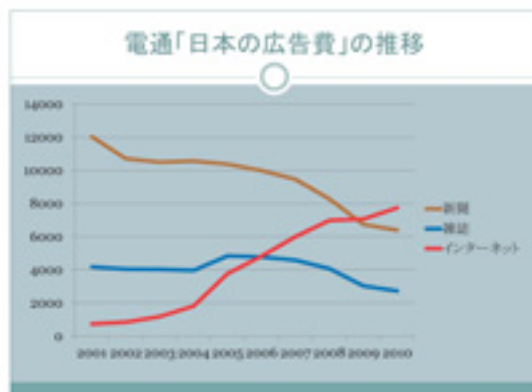
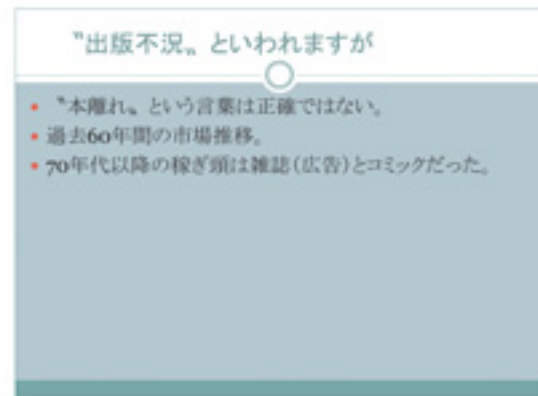
参加者の意見等

今回の研究会終了後に回収したアンケートの意見のひとつに「公共図書館（大学以外）の参加者が少なく、残念」というのがあった。開催時期がちょうど年度末のいろいろな行事等が行われる時期と重なってか、現在ホットな話題となっている電子書籍をテーマとした講演にも関わらず多数の参加者を得られなかったことから、開催時期も再考する必要があると感じた。その他、主な意見としては、次のものがあった。「出版流通について話が聞けてよかったと思う。内容的に若干難しかったが情報を得られて良かった」「電子書籍と図書館がどうつながっていけばいいのか日々考えさせられますが、まだまだ時間がかかる問題だと感じた」「タイムリーな話題で勉強になりました。図書館としても否応なく時代の流れを取り込んで行かねばならないでしょう」などなど。星野氏の講演でも言及されましたが、電子書籍はまだ緒に就いたばかり、展開を見守りつつ鋭意検討する必要があるだろう。

<レジュメ>

出版産業の変化を促す2つの要素 —デジタルネットワーク技術の進展と市場の変化—

(株)文化通信社取締役編集長 星野 渉



なぜ電子書籍が話題に？

- 電子出版はCD-ROM出版から20年以上続いてきた。
- 電子辞書、カーナビゲーションなど既に電子的利用が進んでいる分野がある。
- 外資の動き(グーグル、アマゾン、アップル)。
- 国立国会図書館の動き。

進んだ調整の動き

- 「デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会(三省デジ懇)」が6月末に報告書。
- 総務省、文部科学省、経済産業省が個別課題の検討を開始。年度内に結論。
- 出版団体が権利処理モデルを作成、提案。
- 印刷会社の対応。
- 電子出版の推進に向けて、これだけの規模の調整が、これだけの速度で進んだことはかつて無かった。将来、「元年」と呼ばれてもおかしくない。

三省デジ懇報告書

- 三省＝総務省、文部科学省、経済産業省。
- 報告書(A4判、約70ページ)を発表。
- 電子出版を推進するための論点を網羅的に抽出。
- http://www.souma.go.jp/main_content/000075191.pdf

総務省 平成22年度「新ICT活用サービス創出支援事業」

- ①「国内ファイルフォーマット(中間(交換)フォーマット)の共通化に向けた推進整備」→日本電子書籍出版協会
- ②「書籍情報(MARC等)フォーマットの統一に向けた推進整備」→日本書籍出版協会
- ③「メタデータの相互運用性の確保に向けた推進整備」→筑波大学
- ④「記事・表紙等の単位で統合化されたコンテンツ配信等の実現に向けた推進整備」→日本雑誌協会
- ⑤「電子出版のアクセシビリティ確保」→電子出版制作・流通協議会
- ⑥「製造を確した電子出版と紙の出版物のシナジー効果の発揮」→インフォテック
- ⑦「その他電子出版の制作・流通の促進に向けた推進整備」
- 「JEP(日本出版振興会)」→エーエス
- 「研究・教育機関における電子ブック利用拡大のための推進整備」→読書・システム研究機構
- 「印刷型デジタルコンテンツ流通促進プロジェクト」→デジタル・文芸図書情報推進協議会
- 「電子出版の流通促進のための権利共有プラットフォームの構築と書店店頭での併売システムの活用推進プロジェクト」→出版文化産業振興財団(JPFC)
- http://www.souma.go.jp/memo_news/s-news/corruption2_0000005.html

文部科学省「電子書籍の流通と利用の円滑化に関する検討会議」

- デジタル・ネットワーク社会における図書館と公共サービスに関する事項。
- 出版物の権利処理の円滑化に関する事項。
- 出版者への権利付与に関する事項。

経済産業省「書籍等デジタル化推進事業」

- 個々の出版物の特性に応じた契約を円滑化する取組の構築。
- ファイルフォーマット(中間(交換)フォーマット)の共通化に向けて不可欠となる国内出版社・印刷会社等への普及促進。
- 外字・異体字が容易に利用できる環境の整備。
- 書店を通じた電子出版と紙の出版物のシナジー効果の発揮。

著作者との契約書

- 日本雑誌協会が「デジタル雑誌配信権利処理ガイドライン」を公開。
- 日本書籍出版協会が電子出版に対応した「出版契約書ヒナ型」を作成。

印刷会社の対応

- 印刷会社は30年前からデジタル化していたが、編集者の仕事は活版時代と基本的に変わらない。
- 印刷会社が紙の本を作る工程で電子データを生成できるサービスを標準的に行えば、日本の出版社は今のままの作業スタイルで電子書籍が制作できるようになる。
- 大日本印刷と凸版印刷が「電子出版制作・流通協議会」を発足。

端末と配信プラットフォームが登場

- タブレット＝アップル「iPad」、シャープ「GALAPAGOS」、サムソン「Galaxy」etc
- 電子書籍端末＝ソニー「Reader」、アマゾン「Kindle」？ etc
- スマートフォン各種。
- グーグル、紀伊國屋書店、大日本印刷、凸版印刷、角川グループ、日経BP、学研グループなどが電子書籍販売サイト。
- 大日本印刷とCHiグループが電子図書館サービス開始。

電子出版市場は広がるのか

- 制作(フォーマット、印刷会社等)
- 契約関係(契約書、権利処理)
- 販売チャネル(配信会社、端末)
- 各段階での調整が整えば、大手から小規模まで電子版を発行することは容易になるので、少なくとも提供される「電子書籍」(書籍の電子版)の数は増える。
- ただ、課題は多い。

出版社の悩み

- 『もしドラ』は10万DL突破だが....
- 実売印税の計算・支払いが大変！
- 商品マスタをどうやって作れば....
- どんなファイルで保存したらいいの？
- 電子出版の許諾を得たら出さなければならない！
- 校了データを自社で管理できるのか？
- 書店の目を気にしなければならない。

電子化を考えるポイント

- メディアは技術の進歩にあわせて変化するもの。アリストテレスも孔子も紙の本で勉強したわけではない。
- 過去の変化(紙、冊子、金属活字印刷)は長い時間がかかった。
- 紙から電子へという本格的なメディアの変化と、新しいメディアとしての電子出版がある。
- ニーズが変化を進める。グーテンベルクの印刷技術から50年で2万5000タイトル、350万冊の出版物が普及したが、アジアの「活字」は普及しなかったと。

どのように進むのか

- 紙を電子に移し替えても、新しい価値は生まれない。雑誌が売れなくなったのは、電子雑誌のせいではない。
- まず利用者のニーズを探り当てた分野から確実に進行する。これまでの辞書、地図などのように。
- ニーズと関係なく進んでしまう分野もある。教科書、図書館など。
- まずBtoBからかではないか。大学、図書館等。

図書館

- 「注文する本は電子媒体が多く、電子媒体がないとわかって初めて紙媒体に目を向ける」ミシガン大学アジア図書館館長代理・仁木賢司氏。
- 紀伊國屋書店「NetLibrary」に加え、DNP・CHIの公共図書館向け電子図書館サービス始まる。
- 図書館サービスと商用サービスの切り分けができていない中で、実態が進むことへの戸惑いがある。

日版ショックの衝撃

- 2010年1月の話題は日本出版販売(日販)の配本コントロール(総量規制)だった。
- 書店からの発注と売り上げは前年同月を下回っているのに、新刊配本量は増え続けた。
- 日販が新刊配本を絞り込んだ結果、上期は返品率が4%減、売り上げは横ばい、注文が増えた。
- 産業全体でも、2010年の返品率は1.6%減の39.0%、書籍新刊点数は7万4714点で同4.9%減と大幅な減少。

書籍ビジネスの収益化

- 書籍は儲からない。雑誌に依存したビジネスモデルから脱却するためには。
- 「売り上げを上げる」、「定価を上げる」、「コスト削減」。
- 方法は返品ロスの削減しかみえていない。
- なぜ40%もの返品が発生するのか。
- かつての「総量規制」は失敗した。
- 書店の重要性が増す。

近刊情報センターの準備

- 日本出版インフラセンターが4月開設に向け実験(新ICT利活用サービス創出支援事業)。
- 出版社は2カ月前に近刊情報を登録、取次、書店が利用。全て無料で運営。
- アマゾンの影響、そして紀伊國屋書店、大学生協の試み。
- 書店が商品を選択するようになる。
- 縮小均衡の中で書店の魅力を向上していけるのか。

ご清聴ありがとうございました。

文化通信社 風間 孝

調査報告

加盟館における「東日本大震災」による影響調査
平成23年3月11日14時46分18秒宮城県沖130kmの海底震源 マグニチュード9.0

(2011.04.13作成)

図書館名	施設・設備の被害状況	計画/停電による影響	開館状況および今後の予定	備 考
育英短期大学図書館	・資料落下 2 F 2 冊 3 F 5 冊 計 7 冊 ・3 F 円柱に亀裂 ・キャレル・ブースの机と壁の接 ・続部がひび割れ（危険性はなく 利用に支障なし）	・3月中はWebOPACを停止 ・停電決定時コンピュータダウン	通常開館（3月中17時閉館） 4月よりは18:30閉館となる が、計画停電が夜実施される 場合、閉館時間を早める予定	3月中は休業中で利用者が少 なく、節電のため消灯
関東短期大学松平記念 図書館	①閲覧室：書棚一基倒れた 図書相当数落下 ②書庫：図書相当数落下 視聴覚資料落下 ③書庫書棚の耐震用ボルトが外れ た ④一部資料は落下により破損 ⑤書庫壁面亀裂（安全性に問題な し）	①図書館システム停止により、貸出 停止 - 返却・閲覧のみ対応 ※現在、春季休業期間中のため影響 は少ない ②シャッターの開閉ができな（計 画停電期間中は別対応とした） ③図書館システムプログラム修正作 業延期	①3月22日まで、復旧作業 のため閉館。3月23日か ら制限付きでサービス再開 ②4月授業開始後：計画停電 実施の場合は、17:00閉館。	①ガソリン供給不足のため、 業者の定期訪問回数が減っ た（雑誌納品に遅れ）
桐生大学図書館	若干の書籍の落下	WebOPAC、蔵書管理システム共に サーバ管理をしているため、停電に 合わせ電源を落とすことにより、そ れらが利用不可となる。また、照明 が使用できないことによるサービス 低下。	公開しているスケジュール通 りに開館。今後同様。 ※ただし、計画停電の時間帯 により、予定より早く閉館す る場合がある。	
共愛学園前橋国際大学 図書館	図書が部分的に落下しただけで、 特に被害はありませんでした。	開館時間の短縮。サーバーの停止に 伴いWebOPAC蔵書検索の停止。	開館しているが、計画停電に より開館時間を短縮している。 今後は未定。	
群馬県立女子大学附属 図書館	書架から50冊程度図書が落下・散乱 した	停電中は図書館システムを停止し、 開架書庫への出入りを禁止する。館 内のエレベーターは使用禁止とす る。	新年度より、17:00以降の時 間帯に停電がある場合は、閉 館時間を早める。	
群馬工業高等専門学校 図書館	なし	これまで実施されていません。	いまのところ時間短縮などの 予定ありません。	館内照明を一部消灯し節電
群馬医療福祉大学図書館	雑誌架（バックナランバー）の資料 が落下（上段：2棚分）	図書館システムのサーバー機を一時 停止 文献取寄せの一時見合わせ	未定（学校の方針に合わせる 予定）	【輪番停電】第5グループ 節電のため、館内照明を全て 落とす (4時頃まで)
群馬医療福祉大学図書館 藤岡分館	一般書架（上段）の資料が落下	図書館システムのサーバー機を一時 停止 文献取寄せの一時見合わせ	未定（学校の方針に合わせる 予定）	【輪番停電】第5グループ

次ページに続く

図書館名	施設・設備の被害状況	計画停電による影響	開館状況および今後の予定	備 考
群馬医療福祉大学附属ハビリ専門学校図書室	← 元気プラザ21 6階 書架の資料が全て落下（1,000冊） ↑ 書架が大きく傾き、全ての書架が歪んでしまった。 ↑ 書架上部を支える梁が外れてしまった。 ・本館 積層書架3F西壁側の2台（4連1台、5連1台）の書架の耐震用留金が抜け落ち、書架の傾斜により、約300冊が散乱。 ・本館 玄関前東側のスロープに亀裂。 ・本館 エレベータ停止。 ・医学分館 館内の壁のヒビが拡大。 ・医学分館 エレベータ停止。 ・医学分館 感震装置の作動により空調が停止。 ・工学分館 積層書架壁側の留金が見え、書架が傾斜。積層書架全体の書籍約50%が落下。館全体では約2万冊が散乱。落下による破損図書約100冊。 ・工学分館 窓ガラス20枚が破損落下及びヒビ割れ。 ・工学分館 館内の壁・柱の随所がヒビ割れ。	エレベータの使用禁止	22日（火）に書架の歪みを修復 授業開始に併せて通常開館予定 【輪番停電】第5グループ 横揺れが3m位あったらしい 1週間の入校禁止令	
群馬大学総合情報メディアセンター図書館		 計画停電に合わせて閉館	・本館 3/18(金)～3/31(木) 臨時休館 (但し、「リフレッシュコーナー」は利用可) ・医学分館 昭和地区計画停電の実施に合わせて閉館。夜間特別利用は中止。 ・工学分館 3/18(金)～3/31(木) 臨時休館 但し、特別の理由により、図書資料の貸出等を希望する場合は当該カウンターで対応。	4月以降5月連休明けまで本館 月～金 9:00～17:00 土、日、祭日 休館 医分 4/1～6 9:00～17:00 4/7～5/8 9:00～21:00 土、日、祭日 休館 工分 4/1～6 休館 4/7～5/8 9:00～17:00 土、日、祭日 休館
群馬パース大学付属図書館	1階図書数千冊が落下	春季休業中ということも考慮し4月3日まで休館となった。	4月4日から開館予定（ただし計画停電中については休館）	
上武大学附属図書館	3階書架300冊程度図書落下 4階書架50冊程度図書落下	3/25迄1グループ停電時に停電 3/26以降1Bグループ停電時に停電	3/11新システム移行作業中 休館 4月以降停電時は通常業務予定	
上武大学附属図書館分館	1階・2階とも資料数百冊が落下した	第5グループBに属するが高崎市新町の停電対象外地区にあたり、影響は少ない。	ホームページ日程による通常開館	

図書館名	施設・設備の被害状況	計画・停電による影響	開館状況および今後の予定	備 考
高崎経済大学附属図書館	書架から2,000冊くらいの本が落下 下その他施設は被害なし	地震のあった翌週から館内改修のため、休館日としていたため影響なし	停電による業務の縮小及び臨時休館もやむを得ない状況にある。 4月中は短縮開館	
高崎健康福祉大学図書館	図書約20冊落下。落下はしなかったものの、多くの図書が書架から数センチ飛び出した。			
高崎健康福祉大学図書館 分館	図書2冊の落下。落下はしなかったものの、多くの図書が書架から数センチ飛び出した。		夜間の計画停電にあたった場合は17時閉館。昼間の計画停電中は開館するが、貸出不可（閲覧、返却は可）。	
高崎健康福祉大学図書館 薬学部図書・資料室	蔵書の約3分の2が落下。ビデオ本体（2本）、DVDケース、落下した図書（10冊）が破損。	春期休業中の計画停電時は閉館		3月14日（月）は臨時休館し、復旧作業にあたった。
高崎商科大学図書館	壁の亀裂（数ヶ所）	特になし	授業開始が延期になったため、長期休業中対応の開館時間の期間を延長	
東京福祉大学附属茶屋四郎 次郎記念図書館	図書の落下（約1,000冊）	図書館システム、電話、ファックス、メール使用不可。	通常通り開館（ただし、計画停電中は閉館）	停電中は電話、ファックス、メール不通となります。（第1G）
東洋大学附属図書館 板倉図書館	所蔵資料のうち、1階は100冊ほど、2階は書架の最上段・2段目の半分ほどが落下し、一部は破損。施設・設備等には損傷なし。	計画停電実施中は、閉館または資料の閲覧のみの開館を予定。	地震発生直後から3月25日までは閉館。3月28日～3月31日は10時～16時の開館（通常より時間短縮）。4月1日以降は通常どおり開館予定。	
新島学園短期大学 附属図書館	壁に固定した書架の留め金が1ヶ所はずれた。書架が1ヶ所ぐらいついてしまった。固定していない書架が少し動いた。時計が壁から1ヶ落下。閲覧のPCが1台動き画面がちがちかしていた。	時間短縮あり。	落下した本を元に戻すため約5日間閉館。その後、通常開館。	5,550冊本が落下。本棚から本が降ってきた。人的被害なし。本が傷んだものが多少あったが、修理は未実施。開架の書架整理を実施。本を棚の奥に詰めストッパーで止める作業を実施。（特に棚の上3段が落下多し）書架の補強実施。
放送大学群馬学習センター 図書室	図書室内の本が数冊落下した程度	コピー機やコンピュータの使用が不可	停電時においても定時で開館する予定	
前橋工科大学附属図書館	書庫等の壁のひび割れ	停電時は業務縮小	授業の実施状況により対応	
明和学園短期大学	図書の落下による一部破損（軽度）	PCが利用できないため事務処理の一部に支障	通常開館（停電の時刻によっては早期閉館）	

【図書貸出ベスト10 2010年版】(その1)

＜育英短期大学図書館＞

順位	回数	書 名
1	17	楽しい幼児の運動遊び107
2	14	1Q84Book3
3	13	0～5歳児のたのしい運動あそび
4	12	0～5歳児の運動あそび指導百科
4	12	かわいい！楽しい！壁面実例12カ月
4	12	中谷真弓のエプロンシアターベストセレクション
7	11	ダーリンは外国人2
7	11	P r i P r i プリティ壁面1
7	11	心にのこる手づくりカードアイデア集
7	11	1Q84Book1

＜関東短期大学図書館＞

順位	回数	書 名
1	27	ひつじばん
2	23	実習日誌の書き方：幼稚園・保育所実習
3	21	はらぺこあおむし。-- 改訂新版
3	21	ぐるんぱのようちえん
3	21	わたしのワンピース
3	21	しりとりのだいすきなおうさま
7	20	バオちゃんのかくれんぼ
8	18	へんしんトンネル
9	17	ぐりとぐら（こどものとも傑作集）.
10	16	きのみのかき（もりのおくりもの；2）

＜新島学園短期大学附属図書館＞

順位	回数	書 名
1	32	ポケットいっぱいのおた
2	11	聖☆おにいさん 2
2	11	聖☆おにいさん 1
2	11	漢字学習ステップ2級
5	10	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon)
5	10	聖☆おにいさん 4
5	10	説教者のための聖書講解
8	9	聖☆おにいさん 5
9	8	告白（湊かなえ著）
9	8	聖☆おにいさん 3

＜群馬県立県民健康科学大学附属図書館＞

順位	回数	書 名
1	62	ナースのためのくすりの事典 2010年版
2	45	計算問題解法ブラウン・ノート 診療放射線技師
2	45	産褥・新生児 第2版 母性看護学2
4	44	糖尿病・代謝・内分泌 第2版 病気がみえる
5	41	根拠がわかる疾患別看護過程
6	39	消化器 第4版 病気がみえる
7	38	妊娠・分娩 第2版 母性看護学1
8	36	産科 第2版 病気がみえる
9	35	診療放射線技師イエロー・ノート 臨床編 第2版
10	34	核医学検査技術学 改訂2版 放射線技術学シリーズ

＜共愛学園前橋国際大学図書館＞

順位	回数	書 名
1	11	ノルウェイの森上
1	11	ノルウェイの森下
3	10	告白（湊かなえ著）
4	9	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) book 1
4	9	誰とでも15分以上会話がとぎれない！
6	7	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) book 3
6	7	伝わるしくみと異文化間コミュニケーション
6	7	「男らしさ」の快楽 ポピュラー文化からみたその実態
9	7	食堂かたつむり
9	6	他者と比べる自分

＜高崎健康福祉大学図書館＞

順位	回数	書 名
1	39	基礎からしっかり学ぼう！管理栄養士国家試験の要点 2009年版
2	36	管理栄養士国家試験必修ポイント セカンドステージ2010
3	32	管理栄養士国家試験必修ポイント ファーストステージ2010
4	17	1Q84book1
5	15	植物図鑑
6	14	クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説 2009
7	13	神様のカルテ
7	13	1Q84book2
7	13	告白（湊かなえ著）
10	12	管理栄養士国家試験受験必修過去問集

＜高崎健康福祉大学図書館分館＞

順位	回数	書 名
1	67	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図
2	65	母性看護実習ガイド（パーフェクト臨床実習ガイド）
3	60	疾患別病態関連マップ
4	55	疾患別看護過程の展開
5	48	発達段階からみた小児看護過程+病態関連図
6	47	根拠がわかる母性看護技術
7	38	写真でわかる母性看護技術
8	37	術中/術後の生体反応と急性期看護
9	34	疾患と看護過程実践ガイド
9	34	周手術期看護（ナース・グラフィケーエックス 3）

＜高崎健康福祉大学薬学部図書・資料室＞

順位	回数	書 名
1	28	NEW薬理学 改訂第5版
2	24	薬剤師国家試験過去問題集 第93回
3	22	薬理学・薬物治療学 図解表説 第2版
4	21	薬剤師国家試験問題解答・解説 82回（9年春）
4	21	薬剤師国家試験過去問題集 第92回
6	19	パートナー薬理学
7	18	薬剤師国家試験問題解答・解説 81回（8年春）
8	17	薬と疾病Ⅰ コアカリ重点ポイント集4
8	17	物理系薬学 コアカリ・マスター1
8	17	トータル人体の構造と機能 第2版

新人紹介

◆わたしの仕事◆

群馬県立女子大学附属図書館

村山 夏樹

はじめまして。4月より群馬県立女子大学附属図書館に勤務しています村山夏樹と申します。主に相互貸借・文献複写、図書の受入を担当しています。その他に館内掲示物や企画展示コーナーのポスターを作成する広報係を任されています。掲示物を作成するとき心がけていることは、目を引くこと、わかりやすいこと。そして、女子大学の華やかな雰囲気に合わせて明るい色を使うようにしています。

定期的開催している企画展示や特別展示では、スタッフ全員で話し合っテーマを決め準備を進めます。今年は東日本大震災という大きな災害が起きた年なので、5月は『地震と情報』というテーマで「地震」、「原発」、「放射能」、「災害心理」などをキーワードに関連の所蔵図書を展示し、地震翌日の新聞トップ面を貼り出して各新聞社の報道の仕方の違いを比べられるようにしました。第二弾では図書館購読雑誌に掲載された特集記事を中心に誰がどんな発言や報告をしたか一覧できるリストを作成し配布しました。

6月中旬からは七夕に向けて2メートル程の竹を入口に飾り、自由に飾り付けをしてもらえるように短冊や千代紙を置いたところ、217名の学生が願い事を書いた短冊で七夕飾りをにぎやかに彩ってくれました。図書館の資料とは関係の無い企画でしたが、学生に図書館をもっと身近に感じてもらいたいという思いから学生参加型の企画を考えました。

しかし、学生が本当に大学図書館に求めているものは資料であり、正確でためになる情報であり、頼りになる図書館スタッフだと思います。学生から必要とされる存在には程遠い私ですが、職場の



先輩方と仕事をしていく中でたくさんのことを経験し、学び、成長していきたいです。今は、図書館の存在を盛り上げるべく自分にできる仕事をひとつひとつこなして一歩でも前へいけるよう頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

◆大学図書館に勤務して◆

高崎経済大学図書館

宮本 洋輔

今年の4月から公立大学法人高崎経済大学の専任職員として大学図書館に勤務しています。私は今年の3月まで高崎経済大学の学生でした。そのため、学生から職員になって考え方など何が変わったか述べます。

学生のころは大学図書館を利用していましたが、利用頻度が高いというわけではなく、主にゼミでの研究などで必要に応じて図書を借りたり、雑誌を複写したりしてしていました。大学図書館の全てのサービスについて関心があるというわけではなかったもので、視聴覚資料の視聴やグループ研究室の使用など利用していないサービスがありました。そういった意味では、大学図書館のすべてを知っているというわけではなく、一部しか知らなかったのかもしれませんが。

しかし、職員となった現在は、すべてのサービスを知る必要があります。その理由としては、公立大学法人に採用されている以上、学生に大学図書館のサービスを提供する「責任」があるからです。学生のころは授業料を支払っている立場でしたが、現在は学生が支払っている授業料から給料を頂いている立場です。この立場の違いは大きく、大学図書館のすべてのサービスを学生に説明でき提供できないといけません。それに加えて、今後は学生や教員など利用者の利便性向上などを配慮し、新たなサービスを考える熱意が必要です。図書館は大学図書館にかぎらず、時代の変化や利用者のニーズに応じて変化していく場所のため、現状のサービスを見直すことはもちろん、新たなサービスを導入することは常としているからです。また、導入を実現するためには、大学図書館に関する熱意だけでなく、職員として過ごす日々の経験や図書館学を学ぶ自助努力、大学運営を担当する部署への発言力など必要な能力が多岐にわたるため、日々の業務のうえで、奮闘中です。

現在、勤務しているなかで、まだまだ大学図書館についてわからないことが多く、苦心する日々が続いていますが、採用された当初に心の中にあつた「利用者にとって利用しやすい大学図書館をつくりたい」気持ちを忘れずに生活していきたいです。月日がたつと気持ちは薄れていくものかもしれませんが、何かをきっかけにいつでも思い出せるように心の片隅にとどめておきたいです。

トピックス 高崎商科大学

「選書ツアー2011」の実施

昨年度・今年度と、6月に「選書ツアー」を実施しました。募集人数は20名で、紀伊國屋書店新宿南店での選書1時間30分、自由時間2時間のバスツアーです。今年度の参加者は19名、307冊の本を選びました。会議を経ての発注となるので、展示・配架が夏休み直前となってしまいますが、参加者だけでなく一般の学生の注目度も高く、展示書架の前で気に入った本を探し、貸出しを受ける学生の姿が数多く見られます。



トピックス 群馬大学

「全国郷土かるた」の寄贈

当館には、平成9年、本学教育学部社会科教育講座の山口幸男教授・原口貴美子講師から寄贈いただいた100種類を超える郷土かるたのコレクションがあるが、この度は、本年8月8日、悴田晴美氏（東京都板橋区在住）から、全国の郷土かるた全91点の寄贈があった。これらの郷土かるたは氏が個人的に収集されたもので、ご両親が高崎の出身であること、また、当館が郷土かるたのコレクションを所蔵していることをインターネットで知ったことから、当館を寄贈先選ばれたとのこと。寄贈いただいたかるたは数点を除き、ほとんどが当館未所蔵のもので、幸いにも、当館コレクションの大幅な充実が図れた。



編集後記

本年3月11日に発生した東日本大震災、津波、原発事故を伴い未曾有の被害を齎し、未だに多くの人々が非日常の生活を余儀なくされています。幸い、本県では被害は少なく済みましたが、今号では加盟館の被害状況についての調査結果を掲載しました。危機管理の重要性が絶えず問われています。